

第3．相生楼での「昼食談義」

1．なぜ相生楼で昼食を？

相生楼は7月24日、25日の天神祭で大いに盛り上がった大阪天満宮の斜め向かいにある老舗の料亭。町内会の総会などのオフィシャル行事でしか利用したことのない高級料亭だが、今回はその玄関前に川端康成生誕の地という石碑が立っていることと、莫言と毛丹青には日本情緒たっぷりの料亭の昼食を食べてもらいたいとの思いからここを予約した。

高級とはいえ、お昼の松花堂弁当は数千円だから、たまには庭を見ながらゆっくりお座敷での昼食もいいものだ。

2．写真撮影

事務所から相生楼まで徒歩で約5～10分。莫言も毛丹青も天満宮には来たことがあったが、そのすぐ前にこんな料亭があったことや、川端康成の石碑が立っていることは知らなかったため興味津々。

そこでまずは、石碑の前で記念撮影を（写真第3 - ）。さらに座敷の中に入ると、莫言は庭や掛け軸などを興味深そうにさかんに写真撮影。

3．昼食談義は？

相生楼での昼食談義もすべて記録するべく、座敷の中にビデオやICレコーダーを持ち込み、かつ写真を撮ろうと準備していたが、さすがに昼食時のビデオはやめようということになったため、「昼食談義」の内容は正確に覚えていない。そこで、その一部分だけを（写真第3 - ）。

小女将：川端康成はこの地に生まれただけで相生楼の店は関係ない。その後は茨木で生活。

莫言：（庭を見ながら）もみじがきれいと思う。次の新作のために今でも実家に帰る。今も実家には兄がいる。書く時は家にこもって書く。

毛：有名になった作家はみな贅沢をしてるが、莫言は好青年で遊びをしない。

門限があって夜9時か10時には家に帰る。

坂和：日本の食べ物は何が好きか。

莫言：刺身が好き。たばこを吸う。

坂和：何のたばこ？

莫言：今吸っているのは高いたばこ。値段は300元（4200円）（？）。これはもらったもの。役人が賄賂でもらったものを自分が吸うとばれるので私にくれた（笑い）。

坂和：1箱1000円にしたらいいと私は前から提案しているが、政府はふみ切れない。せいぜい500円までの値上げでストップしてる。

4．有馬温泉での「温泉談義」へ

午後2時すぎに昼食（談義）を終え、ロビーで写真撮影を。そしてタクシーで梅

田まで行き、「有馬温泉行き」の阪急特急バスに乗り一路有馬温泉へ。途中ノンストップで、所要時間は55分。車内は空いているからゆったりと1人ずつ座り、バスの中は「四人四様」の熟睡タイムに。

以上